

都市再生整備計画 事後評価シート

みしままちなか賑わい再生地区

令和3年3月  
静岡県 三島市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	静岡県		市町村名	三島市		地区名	みしまちなか賑わい再生地区			面積	175.2ha		
交付期間	平成29年度～令和元年度		事後評価実施時期	令和2年度		交付対象事業費	465百万円	国費率	0.4				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	公園事業：楽寿園園内整備事業 公園事業：清住緑地整備事業 地域生活基盤施設：三島駅西街区駐輪場整備事業										
		提案事業	なし										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	地域生活基盤施設：浅間神社周辺修景整備事業			削除／追加の理由			計画変更による削除			削除／追加による目標、指標、数値目標への影響	
		提案事業	地域創造支援事業：愛染院跡周辺整備事業 地域創造支援事業：市内案内看板整備事業 地域創造支援事業：浅間神社周辺施設撤去事業			計画変更による削除			影響なし				
		新たに追加した事業	基幹事業	なし			—			—			
交付期間の変更	当初	平成29年度～令和元年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			—						
	変更	変更なし											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の		効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み		(総合所見)	予定時期	
	指標1	満足率(快適性)	%	62.2	H28	65.2	R1	66.2	○	あり	-	中心市街地に位置する楽寿園の整備を行うとともに、西街区の既存の屋外駐輪場を1つの施設に集約し、跡地を広域観光交流拠点としての整備を行ったことで、駅周辺を訪れる人の快適性を高め、散策者や観光客が快適にまちなかを歩くことができるようになった。	—
	指標2	観光案内所来訪者数	人/年	85,000	H28	89,000	R1	88,170	△	あり	-	来訪者の推移は年々増加傾向にあり、令和元年度についても令和2年1月までは例年よりも増加傾向にあった。新型コロナウイルスの影響がなければ目標を達成できていたため、本計画による整備には一定の効果があったと考えられる。	令和3年度中
指標3	観光交流客数	人/年	6,637,346	H27	7,700,000	R1	7,144,151	△	あり	-	観光交流客数は平成30年度には数値目標を達成しており、令和元年度には少し減少し、新型コロナウイルスの影響もあり目標は達成できなかったものの、本計画による整備には一定の効果があったと考えられる。	令和3年度中	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の		効果発現要因	フォローアップ	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み		(総合所見)	予定時期	
	その他の数値指標1	公園・水辺空間の整備	%	49.2	H28			63.0				中心市街地に位置する楽寿園、清住緑地の整備に加え、水の郷構想に基づく回遊ルート整備により、中心市街地周辺における水辺空間のネットワークを構築することができ、満足度が向上した。	
	その他の数値指標2	楽寿園入園者数	人/年	309,387	H28			272,339				楽寿園入園者数の推移は年々増加傾向にあり、令和元年度についても令和2年1月までは例年よりも増加傾向であった。新型コロナウイルスの影響がなければ従前値を超えていたため、本計画による整備には一定の効果があったと考えられる。	
その他の数値指標3													
4)定性的な効果発現状況	・清住緑地については夏場には親子連れが多く訪れ、水辺を自由に遊べる空間のため、実際に水の中へ入り遊ぶ子供も見受けられ、親子で楽しめる親水性の高い水辺空間となった。												

		実施内容	実施状況	今後の対応方針等	
5) 実施過程の評価	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	—	
	住民参加プロセス	清住緑地の整備を行うにあたり、地元の意見を反映した整備とするため計6回のワークショップを開催した	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	関係機関等と協力し、適正な維持管理に努めていく。	
	持続的なまちづくり体制の構築	水辺環境再生や自然環境保全再生、地域の宝再生等の定期的な環境改善活動、及びまちなか環境保全に向けた活動	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	行政は市民やNPO法人との協働を推進し、市民が中心となった環境改善、環境保全に向けた活動を継続していく。
		三島駅南口広場の定期的な清掃活動の実施	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	三島駅をはじめとしたまちなか環境保全の一環として今後も継続的に活動を行う。
		楽寿園内の定期的な清掃及び美化活動の実施	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	楽寿園内の美しい景観の維持をはじめ、活動を通じた参加者の生きがい醸成に寄与していけるよう、今後も継続的に活動を行う。

様式2-2 地区の概要

みしまちなか賑わい再生地区(静岡県三島市) 都市再生整備計画の成果概要

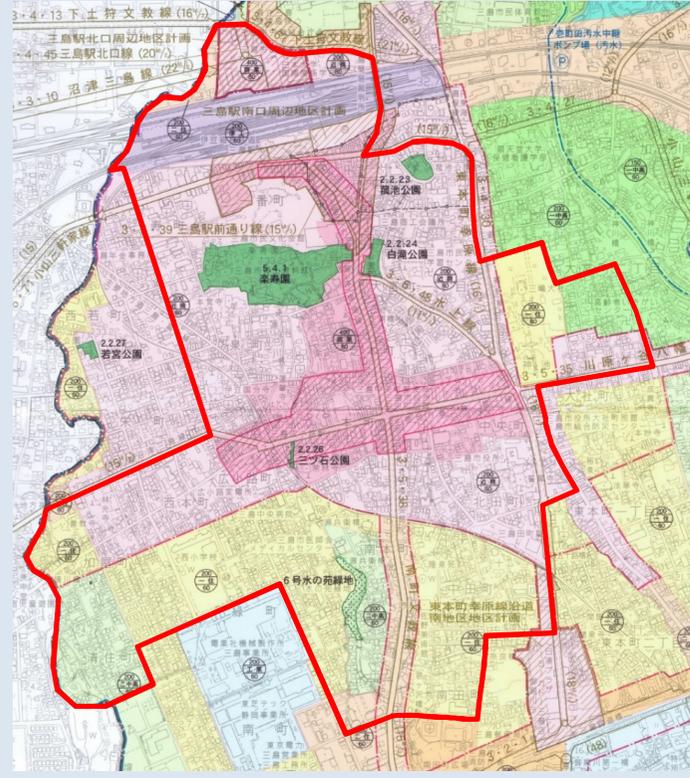
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	満足率	単位: %	62.2	H28	65.0	R1	66.2	R1
三島市の自然的・歴史的・文化的な資産を活用した、個性的で魅力あふれる快適空間の整備を実施し、「訪れたい、歩きたい、住みたいまち」の形成を図ることで、年間2000万人以上の三島駅乗降客や年間360万人が訪れる三嶋大社の観光客を中心市街地へ誘導し、中心市街地の再生につなげていく。	市内観光案内件数	単位: 件/年	85,000	H28	89,000	R1	88,170	R1
	観光交流客数	単位: 人/年	6,637,346	H27	7,700,000	R1	7,144,151	R1



西街区駐輪場



清住緑地



楽寿園

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・せせらぎ回遊ルートの充実により、多くの来訪者がまちなかを散歩する環境づくりができたため、今後はせせらぎ回遊ルートの維持保全と共に、水の郷構想に基づいた中郷温水池や柿田川公園などのエリア外の観光施設とのネットワーク化により広域型の回遊性を高め、より多くの来訪者を市内へ誘導する必要がある。</li> <li>・今回の計画で整備を行った楽寿園や西街区駐輪場だけでなく、今後は中心市街地への回遊ルートとなる駅から芝町通りにかけてのメインストリートの景観や快適性を改善し魅力をさらに高めることで、駅乗降者や周辺観光地からの観光客を市内に誘導する必要がある。</li> <li>・インバウンドを含む観光客の増加により、駅前広場の混雑や待合環境の不足などの課題が生じていることから、三島駅及びその周辺を伊豆・箱根・富士・北駿エリアの玄関口としてふさわしい姿を検討する必要がある。</li> <li>・新型コロナウイルスの収束後を見据え、外国人観光客への対応強化を図る必要がある。</li> <li>・観光資源周知のためのPR活動や官民協働による仕掛けづくりを進める必要がある。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■効果を持続させるための方策</li> <li>・三島駅を起点とした中心市街地及び周囲の観光資源とのネットワーク化により、広域型の回遊性を向上させるため、既設回遊ルートの維持管理、整備を行う。</li> <li>・市民や企業、NPO法人及び行政が一体となり、協働で実施する。</li> <li>・自然的、歴史的資産を活用した新たなまちづくりを図ることで、更なる来訪者の増加を図る。</li> <li>・回遊ルートの看板の多言語化等、新型コロナウイルス収束後を見据えたインバウンド対策を考慮した取り組みを官民一体で進める。</li> <li>■改善策の基本的な考え方</li> <li>・三島駅及びその周辺の公共交通の利用環境の整備を行うことで、交通ハブ拠点としての機能を高め、富士・伊豆・箱根・北駿の玄関口として、広域的な回遊性を向上させる。</li> <li>・来訪者やインバウンドの快適性と、駅周辺の景観及び施設等の魅力を高めるとともに、中心市街地への誘導を図る。</li> </ul>